

創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
専 門 分 野 (専 門)			
専門分野(選択)			
材料力学			
連続体力学特論	2		
非線形連続体力学特論	2		
有限要素法特論	2		
破壊力学特論	2		
弾性力学特論	2		
機械航空宇宙材料工学特論	2		
熱・流体力学			
乱流力学特論	2		
熱流体数値解析法特論	2		
熱流体理論解析法特論	2		
伝熱工学特論	2		
混相熱流体力学特論	2		
機械力学			
振動学特論	2		
応用音響学特論	2		
設計・加工学			
設計特論	2		
機械要素特論	2		
微細加工プロセス特論	2		
微細加工デバイス特論	2		
機械情報学			
知能機械学特論	2		
機械情報学特論	2		
生体機械学特論	2		
生体医学特論	2		
航空宇宙工学			
燃焼工学特論	2		
推進工学特論	2		
高速空気力学特論	2		
航空宇宙機設計特論	2		
衛星力学特論	2		
機械航空宇宙材料学			
機械材料評価学特論	2		
複合材料プロセス学特論	2		
複合材料・構造力学特論	2		
複合材料プロセス数値解析特論	2		
専 門 分 野			
共通(必修14単位)			
機械航空宇宙工学特別実験		6	
機械航空宇宙工学特別演習		8	
共通(選択)			
大学院機械航空宇宙工学特別講義	2		
機械航空宇宙工学特別研修1-A	2		
機械航空宇宙工学特別研修1-B	2		
機械航空宇宙工学特別研修2-A	4		
機械航空宇宙工学特別研修2-B	4		
機械航空宇宙工学特別研修3-A	6		
機械航空宇宙工学特別研修3-B	6		

【修了所要単位に含まない科目】

授 業 科 目 名	標準履修学年		教免区分
	1年	2年	
共通(随意科目)			
実践加工特論	2		

【履修方法】

1. 必修科目14単位及び一般教養科目を含めて30単位以上を修得すること。「実践加工特論」については修了所要単位には含まない。

2. 一般教養科目については、教養(共通)科目から合計2単位を修得すること。

また、2単位を超えて修得した単位は修了所要単位には含まない。
なお、教養(共通)科目には、所属専攻以外の専攻課程及び他の研究科で修得した教養(共通)科目の単位も含める。

【一般教養科目・修了所要単位数:2 単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
選 択 必 修 科 目 (2単位)			
教養(共通)			
自然を学ぶ科目群			
Basic Biomedical Science	2		
固体地球科学概論	2		
人間と社会を学ぶ科目群			
人文学系			
異文化セミナーA	2		
異文化セミナーB	2		
社会科学系			
国際経済学特論	2		
経営行動科学特論	2		
社会的選択理論およびマーケット・デザイン	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知的財産特論	2		
知的財産と法制度	2		
キャリアデザイン系			
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
生命保険数学	2		
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Presentation Skills	2		
Academic Writing	2		
Critical Thinking	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学・研究と倫理	2		
情報学・環境学系			
環境政策論	2		
統計解析	2		
防災地学特論	2		
健康・スポーツ系			
運動処方実践演習	2		
生涯スポーツ実習1	1		
生涯スポーツ実習2	1		
ゼミ・特別講義系			
がんを知りがんと闘う	2		
エネルギー環境セミナー1	1		
エネルギー環境セミナー2	1		
防災科学概論	2		
創域融合特論A	1		
創域融合特論B	1		
医理工学特論	2		
エネルギーシステム工学特論	2		
農理工学特論1	2		
都市防災特論1A	2		
都市防災特論1B	2		
宇宙理工学概論	2		
DX特論	2		
人間安全衛生特論	2		
教職教養専科A	2		
人間安全理工学セミナー1	1		
人間安全理工学セミナー2		1	

3. 他専攻の随意科目を履修した場合、自専攻でも随意科目となり、修了所要単位に含めることはできない。

4. 研究科の定めるところにより、次に掲げる授業科目を履修することができる。

(1) 所属専攻以外の専攻課程による授業科目

(2) 他の研究科の授業科目

(3) 他大学の大学院の授業科目

(4) 学部の授業科目

(1)～(3)に規定する授業科目において修得した単位は修了所要単位として認定できる。ただし(3)は15単位を限度とする。